

高石駅北側高架下等 整備基本計画



※イラストはイメージです

令和5年9月 高石市
Takaishi City

1章 はじめに

- (1) 計画の目的
- (2) 策定にあたって
 - 1) 計画区域
 - 2) 計画の位置づけ
 - 3) 整備目標

2章 計画地の現状

- (1) 周辺状況
- (2) 市民の意識
- (3) 公園・遊戯施設の状況
- (4) 課題まとめ

3章 市民ニーズの抽出

- (1) 市民ニーズについて
- (2) 社会実験「たかいしプレイランド」の実施
 - 1) 実施内容
 - 2) 実施状況
- (3) 社会実験の結果
 - 1) アンケートの結果
 - 2) ワークショップの結果
 - 3) 社会実験で収集した市民ニーズについて

4章 整備方針

- (1) 整備の基本方針

5章 整備計画

- (1) 整備コンセプト
- (2) 整備計画ゾーニング
- (3) 整備活用方法
- (4) 整備イメージ

6章 整備に向けて

- (1) ロードマップ

7章 参考資料

- (1) 検討経過

(1) 計画の目的

高石駅周辺は、平面鉄道により分断された東西のまちの一体性・利便性・安全性を確保するため「南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業」が進められています。

この鉄道高架化により生まれる新たな人の流れや高架下空間を最大限に活用し、高石駅を中心として東西のまちが一体となることで、より一層魅力があふれる新しい駅周辺エリアとして生まれ変わると共に、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現を目指すため、令和2年度に「高石駅周辺整備基本構想」（以下、基本構想）、令和4年度に「高石駅周辺整備基本計画」（以下、基本計画）を策定しました。

今回策定する「高石駅北側高架下等整備基本計画」は、高石駅北側高架下や隣接する公有地において過年度調査で把握した市民ニーズ及びアプラたかいしや東側駅前広場等との相乗効果を踏まえた公共施設整備について検討します。

(2) 策定にあたって

1) 計画区域

高石駅北側に位置する市有地及び南海電鉄所有の鉄道高架下



2) 計画の位置づけ

高石駅北側高架下整備基本計画は、本市の上位計画に基づき、計画区域における関連計画とその整合及び関連事業との連携を図ります。

上位計画

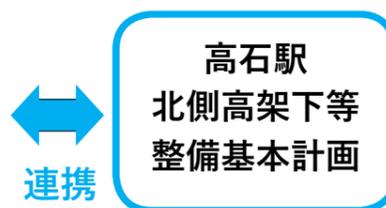
- ・第5次高石市総合計画（令和3年3月策定）
- ・高石駅都市計画マスタープラン（改訂版）（令和4年3月）
- ・高石市立地適正化計画（令和4年3月）
- ・第2期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年3月）

関連計画

- ・高石駅周辺整備基本構想（令和3年3月策定）
- ・高石駅周辺整備基本計画（令和5年3月策定）

関連事業

- ・南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業
- ・高石駅前広場（東側）整備工事



3) 整備目標

高石駅の高架化により生まれた北側高架下空間は、高石市の東西のまちを繋ぐきっかけの場となり、高石駅周辺整備における重要な役割を担う場であると考えます。上位計画及び関連計画・関連事業における成果や方針を引き継ぎ、高石駅周辺の「地域の将来像」及び「まちづくりの4つの目標」（下記参照）を踏まえた整備を行い、高石駅周辺のまちづくりを牽引する計画とします。

- ・高石駅周辺 地域の将来像（高石駅周辺整備基本構想 P.3より）

「人がつながる、集う場となる、ひらかれた駅前」

- ・高石駅周辺 まちづくりの目標（高石駅周辺整備基本構想 P.20より）

1. 駅前商業の活性化

高石駅を起点として周辺エリアに周遊性をもたらし、高架下空間や周囲の既存商業施設、並びに東西商店街が結びつき、互いに協働して駅前商業が活性化されることを目標とします。

2. 住みやすいまちづくり

多世代が快適に暮らし、安心して子育てができるよう人にやさしいまちを目指すとともに、住みたくなる・住みつづけたくなるまちづくりを目標とします。

3. 公共空間の再構築

エリアの一体的な利用により、東西の駅前広場や歩行通路を一つの空間として再構築し、来訪者にとって安全・安心で景観に優れるウォークアブルなまちづくりを目標とします。

4. 官民の協働

駅周辺の公共用地と隣接する民間用地が一体となった駅前空間や地域交流拠点を創出し、市民活動の促進や、民間のノウハウを活用したイベントを共催するなど、地域が活性化し連携することを目標とします。

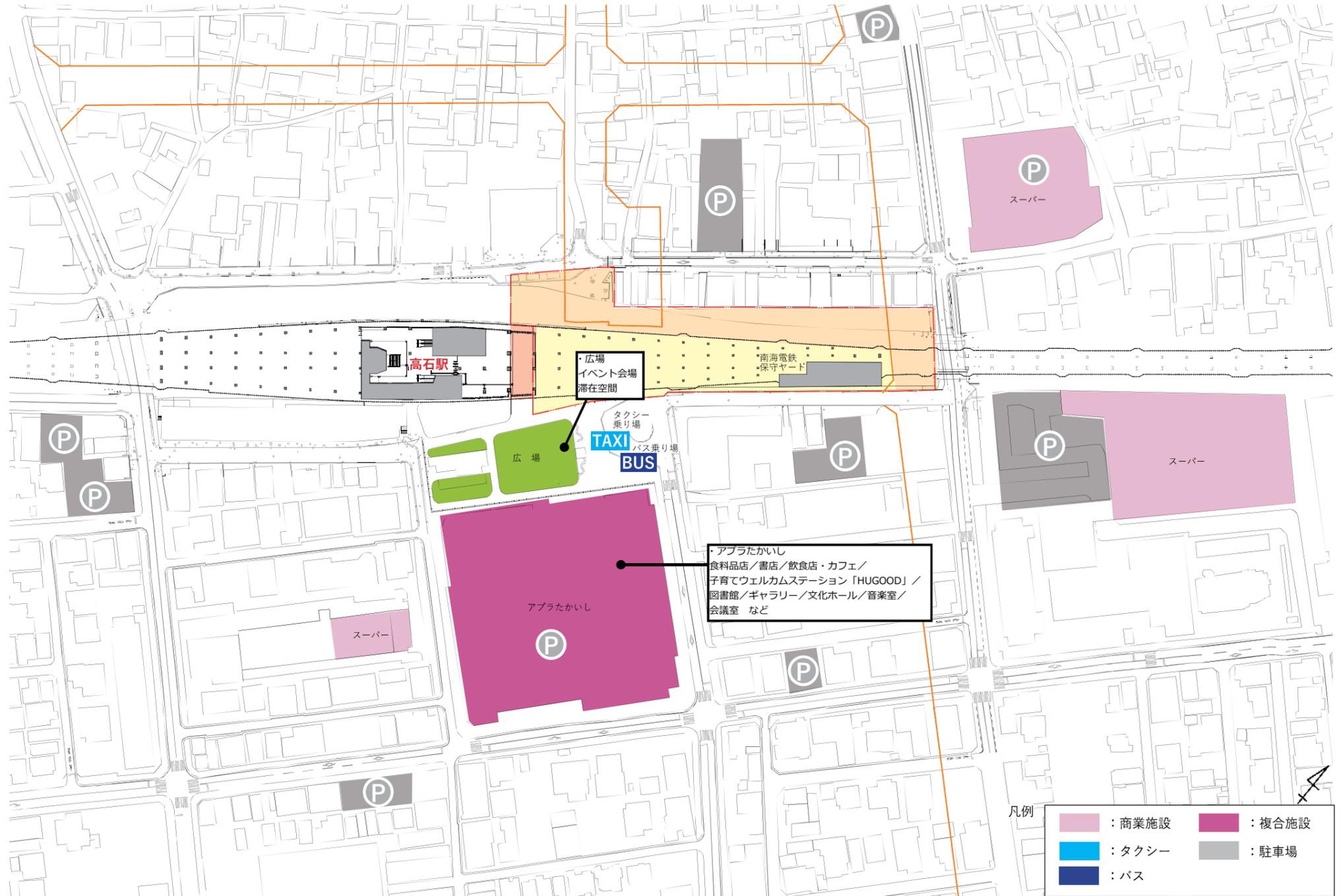
(1) 周辺状況

高石駅周辺は、駐車場の整備により、電車、自動車、自転車、徒歩などあらゆる手段で**アクセスしやすい場所**です。周辺には**閑静な住宅街**が広がる一方、アブラたかいしをはじめとした**商業施設**が徒歩圏内にあり、図書館・ギャラリー・文化ホールなどの**芸術・文化施設**も充実するなど、駅利用者や近隣住民にとっての**生活の拠点**となっています。また、通勤・通学のために駅を利用する**学生や働く世代**、買い物や散歩に訪れる**高齢者**、子育て支援施設に訪れる**子育て世代**など、**日常的に様々な世代が訪れる場所**でもあります。

さらに、アブラたかいしのリニューアルや、東側駅前広場の再整備により、**多くの市民が集える場所としての充実**が図られています。

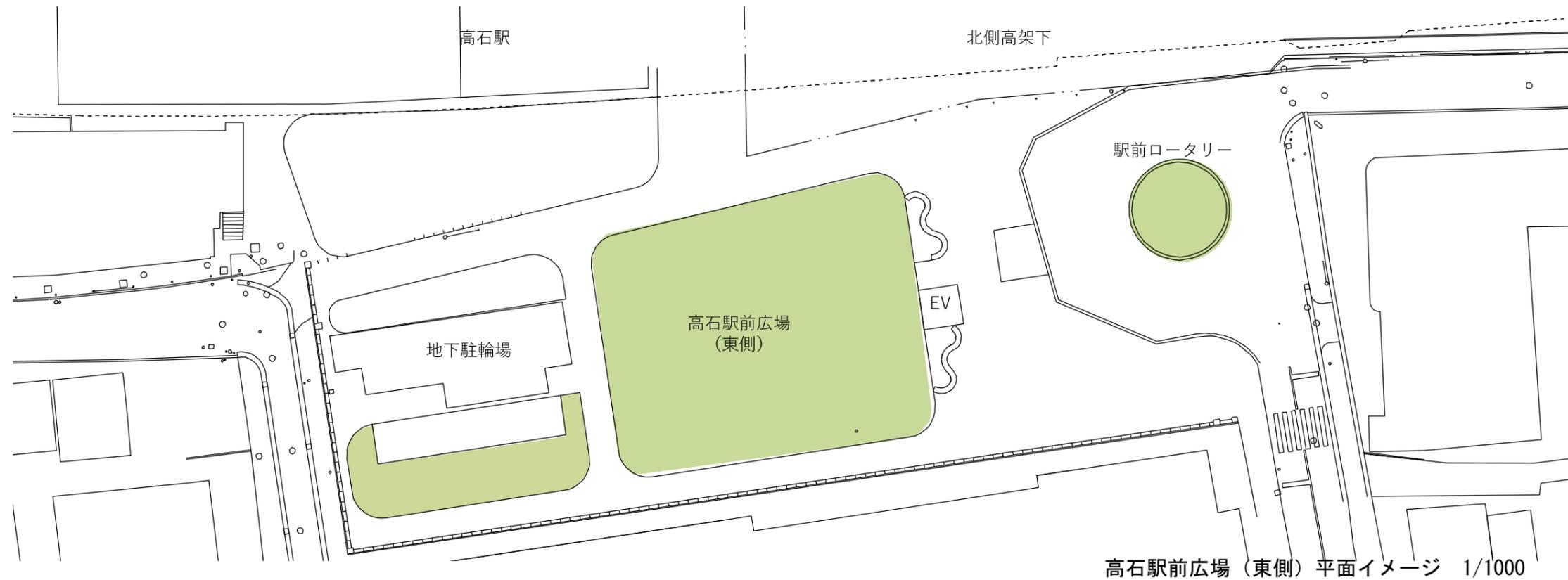
駅直結の高架下空間に、**周辺施設の連携を高め、駅利用者の滞在、回遊行動につながる施設を整備**することで、**現状の駅周辺の潜在力を活かし**ながら、**まちの魅力・活力向上や、賑わいの醸成、多世代交流の促進**に寄与できると考えます。

歩行者のための空間を中心に、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを進めるとともに、人々の生活拠点の一部となる高架下整備を目指します。



2章 計画地の現状

- ・連立事業及び駅前広場整備の進捗度合い
高石駅前広場（東側）



高石駅前広場（東側）平面イメージ 1/1000

(2) 市民の意識

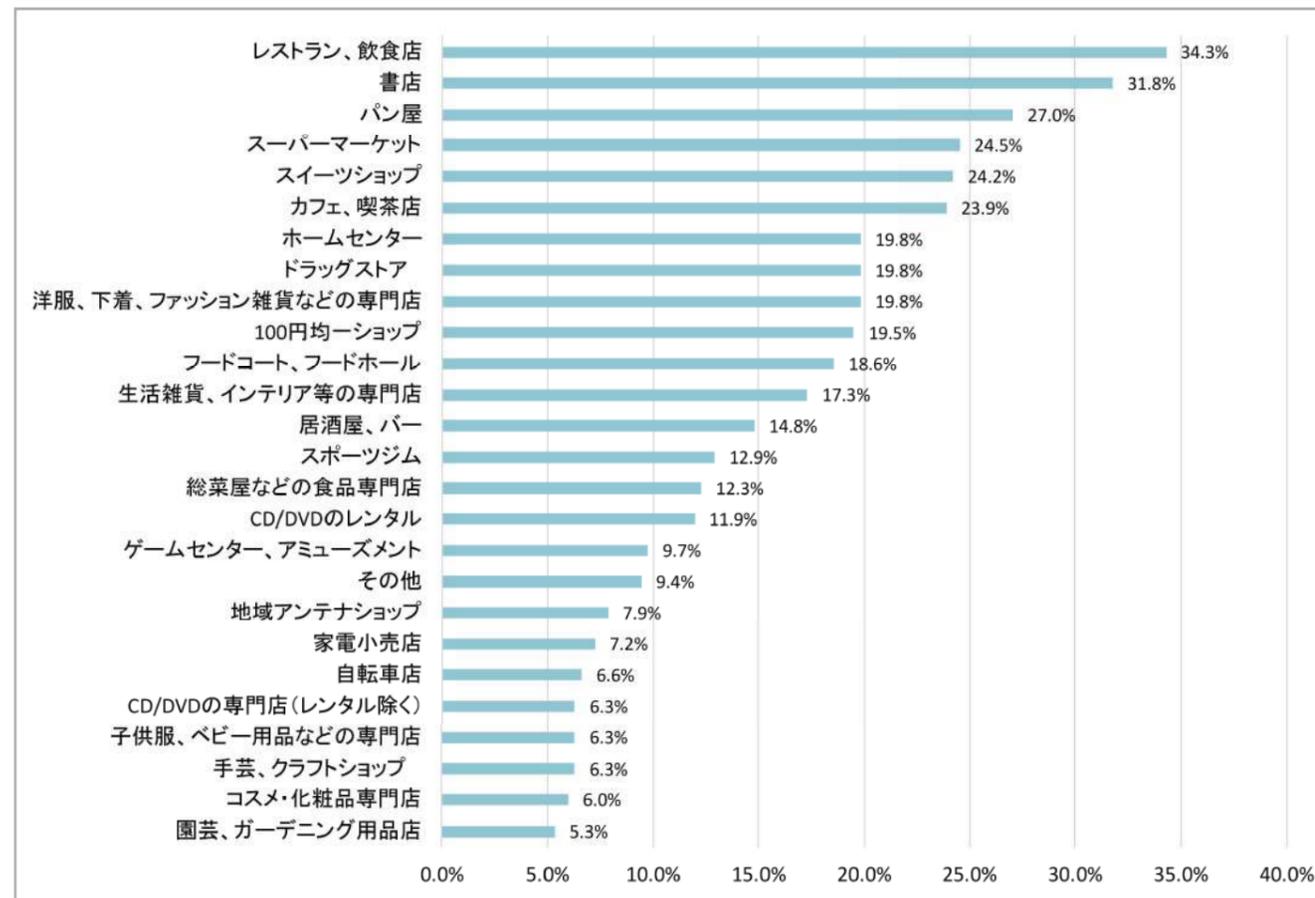
過年度成果（高石駅周辺整備基本構想）から窺える高石駅周辺に対する要望

駅周辺に欲しい店舗は、「レストラン・飲食店」「書店」といった回答が多く、居酒屋・バーを除く飲食店の要望が多いことから、日中や子ども連れでの外食ができる店舗が求められていることが推測されます。書店については、基本構想策定時は高石駅前に存在しなかったため要望が多いと推測されます（現在はアプラたかいしに「TSUTAYA BOOKSTORE」が営業中）。

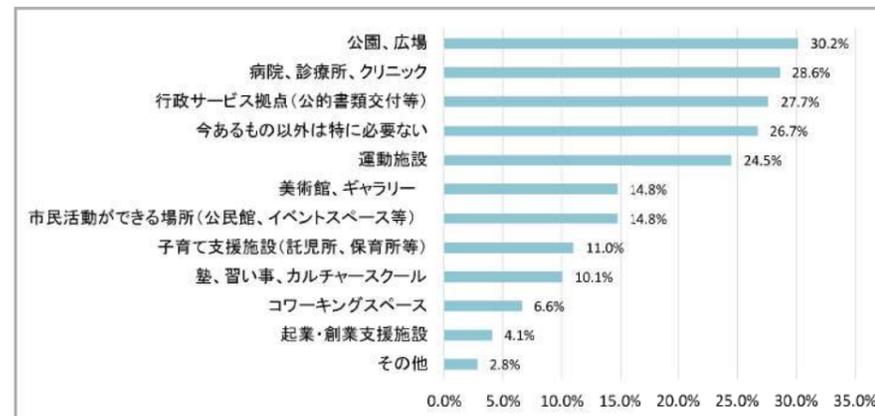
駅周辺に欲しい施設やサービスについては、「公園・広場」「病院・診療所・クリニック」「運動施設」が多く、幅広い年齢層に利用される施設が求められています。しかし、「今あるもの以外は特に必要ない」という回答が同数程度あり、一定の満足度もうかがえます。

駅周辺を周遊するために欲しい機能については、「歩きやすい歩行空間」「雨や日差しを遮ることができる屋根」が回答率 50%を超える結果となっており、利用者の利便性を確保するためには、一層の駅前空間の改善が必要です。

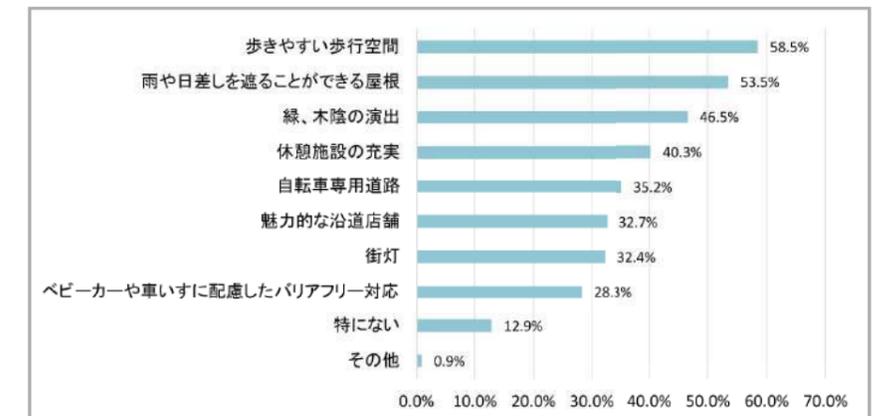
・駅周辺に欲しいお店のジャンル



・駅周辺に欲しい施設やサービス



・駅周辺を周遊するために欲しい機能



高石駅周辺整備基本構想 P14 より

2章 計画地の状況

(3) 公園・遊戯施設の状況

・高石駅周辺の都市施設（道路・交通系、都市計画公園、公共施設、大型商業施設）や遊具関連施設の分布図

高石駅周辺は、大阪市内・関西国際空港へのアクセスもよく、周辺には大型商業施設も点在する利便性の良いエリアです。また、市域の中心に位置し、市内各所から徒歩や自転車でも訪れやすい場所です。長年、平面鉄道により駅東西のまちが分断され、駅周辺の回遊性や一体性等、地域資源のつながりや連携、活気を妨げていましたが、平成8年に都市計画決定された「南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業」が進められ、令和3年5月に南海本線の高架化が実現しました。高架下空間や広場、既存道路などの周辺官民用地を含め、高架化により駅東西の行き来が自由になった高石駅周辺エリア全体の再整備を継続して進めています。

高架下空間の有効利用と駅周辺の再整備により、駅東西のまちをつなぎ、市域全体のウォークラブルネットワークを強化する拠点としての整備を目指します。

(4) 課題まとめ

過年度成果（高石駅整備基本構想）における市民の要望から、周辺に欲しい店舗や機能として、「日中や子ども連れで外食ができる店舗」や「公園・広場」などの施設を求める意見が多数あること、駅周辺環境の調査より、ウォークラブルエリアを強化できる拠点となり得る場所であることが分かりました。

そこで、駅前北側高架下のテナントは民間事業者により、幅広いアイデアやノウハウで賑わいをつくりだし、そのほかのエリアについては、子ども連れで楽しむことのできる公園や、幅広い年齢層が快適に利用できる広場とするなど、官民連携により北側高架下を整備することとします。



(1) 市民ニーズについて

現在整備中の東側駅前広場に加えて、高架下も賑わいが溢れる駅前空間になることを目指し、高架下の活用方法を公園・広場の機能として、遊戯施設を想定し、子どもたちが「からだを動かす楽しさ」を体感できる社会実験を実施することで、新しい駅前空間の想像やニーズを把握し、具体的な整備計画を検証しました。

また、社会実験時に子どもの関係者の方 199 人にアンケートをとり、地域住民にとっての高石市のあそび場の環境についての評価や高石駅前の魅力やイメージについて調査しました。高石駅前高架下を地域住民の意見を聞き、求めている場や魅力ある場を探ることで、高石駅えきまえ空間の活性化につなげます。

(2) 社会実験「たかいしプレイランド」の実施

1) 実施内容

日時：令和5年5月12日（金）・13日（土）

【① 10:00～ ② 12:30～ ③ 15:00～ 各90分】

場所：アプラたかいし 3階（大ホール/ホワイエ）※入場無料

社会実験実施内容：パルクール鬼ごっこ、パルクール体験会、イマジネーション・プレイランド（ビッグブロック）、エアトラック、サイバーホイール、クアドロ（ジャングルジム）

アンケートの実施内容：社会実験参加者にアンケート用紙を配布し、当日回答・回収

WS 実施内容：社会実験参加者のうち希望者を対象に、将来想定される高架下の広場・遊具施設のゾーニング図に自由記述

2) 実施状況

社会実験参加者：5/12（金）70人（子ども：30人/大人：40人）

5/13（土）746人（子ども：299人/大人：447人）

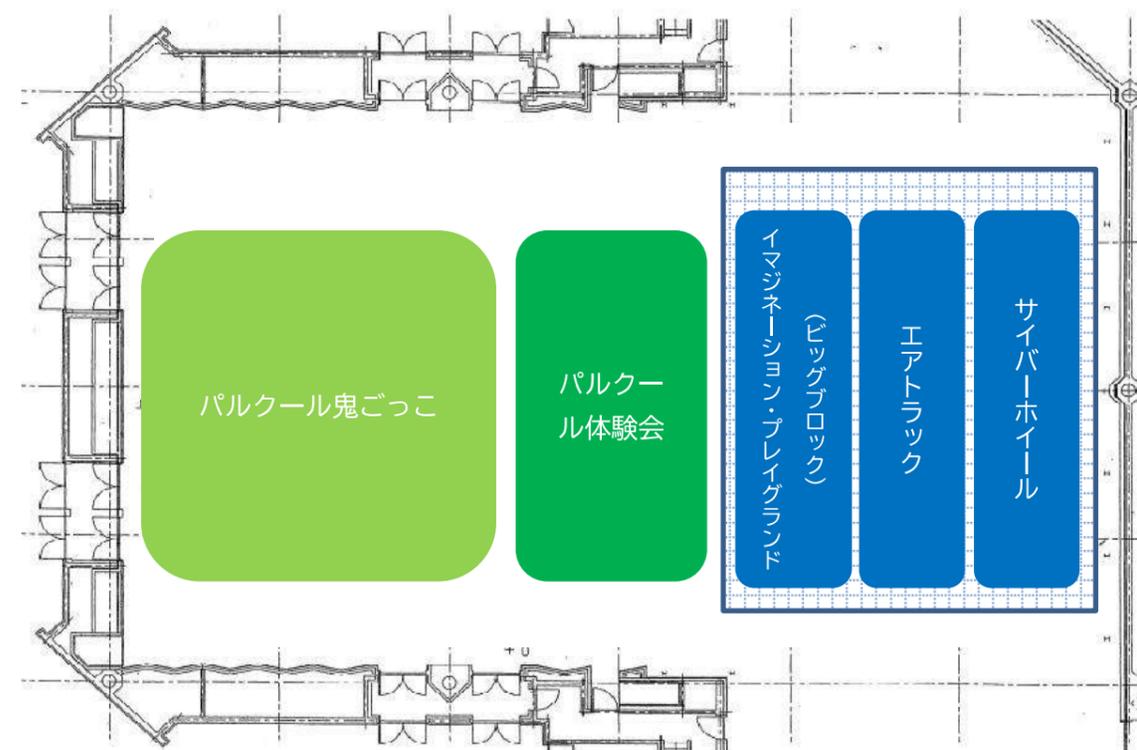
2日間合計 816人（子ども：329人/大人：487人）

アンケート回答数：199件（ご家族で1回答されている方もいたため回答者人数ではない）

WS 参加者数：5/12（金）6名

5/13（土）14名 合計 20名

会場レイアウト



クアドロ（ジャングルジム）
※ホワイエにて設置

社会実験の様子

●パルクール鬼ごっこ



●パルクール体験会



●イマジネーション・プレイランド



●エアトラック



●サイバーホイール



●クアドロ



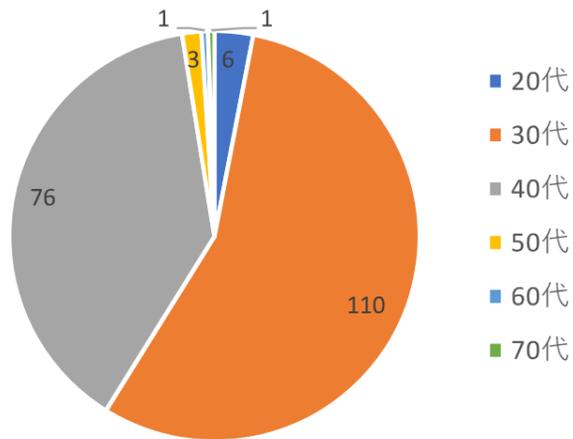
3章 市民ニーズの抽出

(3) 社会実験の結果

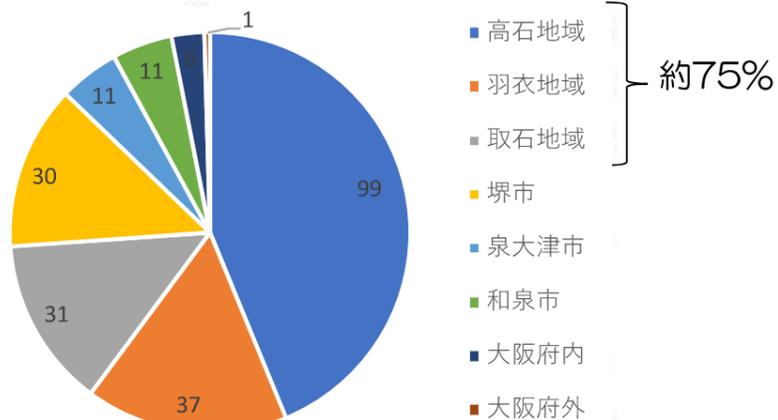
1) アンケートの結果

回答者情報

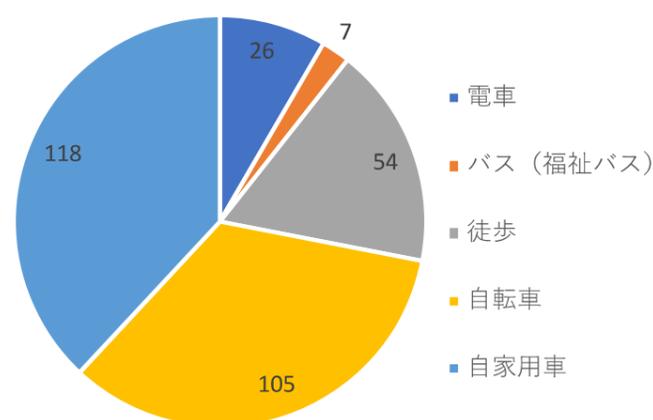
【年齢】



【居住地】

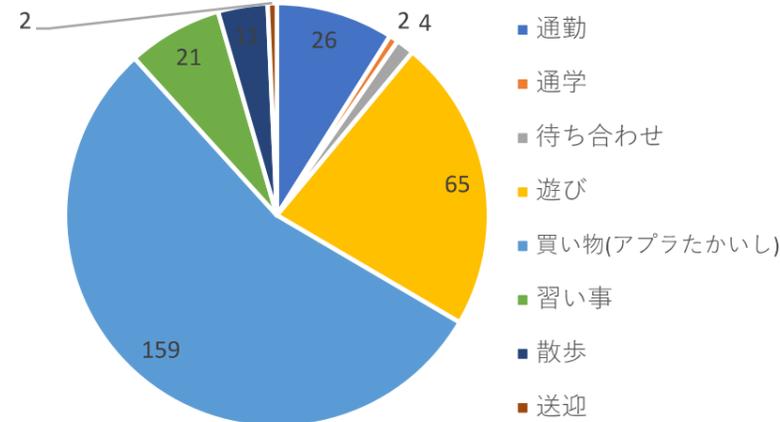


【高石駅周辺を利用する際の主な手段】

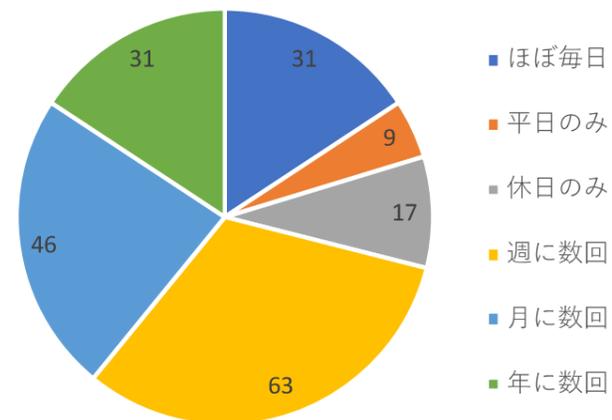


→高石の特徴として、徒歩・自転車利用が多いが子育て世代のため、自家用車が最も多い。

【高石駅を利用する主な目的】



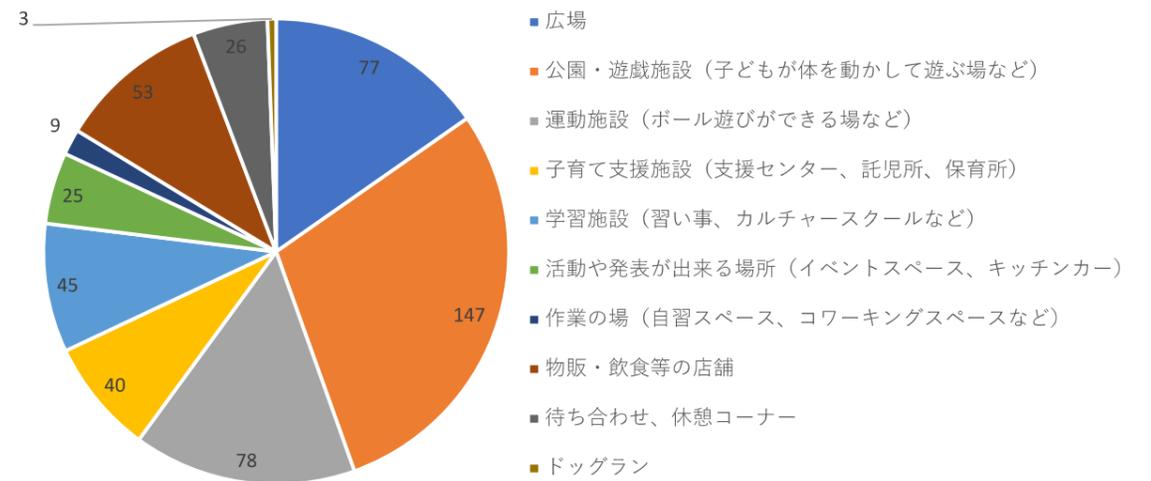
【高石駅の利用頻度】



→今回の参加者は月に数回以上（＝週1回以上）の利用頻度で、日常的に駅周辺を利用する方。

1 高石駅北側高架下に必要な機能について

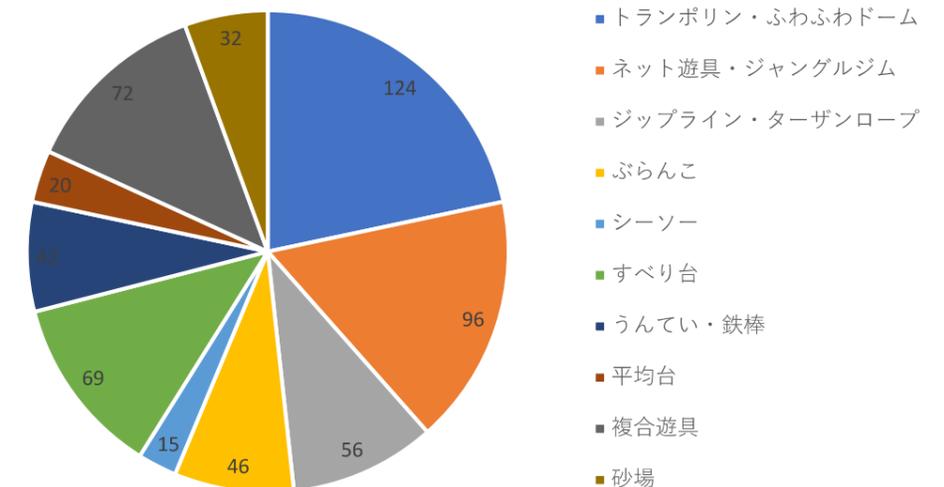
1-Q1 高石駅北側鉄道高架下にどのような機能があるとよいと思いますか？（複数回答可）



1-Q2 1-Q1を選択した理由（自由記入・回答数136人）

- ・子供に運動させたい、遊ばせたい（約80%）
- ・雨天時でも遊べる場所が欲しい（約30%）

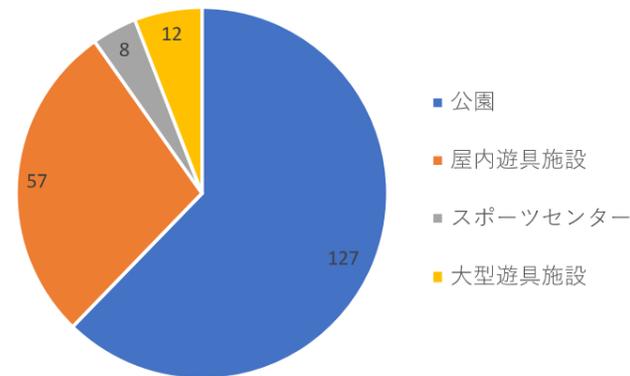
1-Q3 高石駅北側高架下空間に計画する遊具施設にどのような遊具があるとよいと思いますか？（複数回答可）



→ふわふわドーム、ネット遊具にやや意見が集中したが、意外にばらついた印象。高石市内の住宅街の公園には遊具が少なく、とにかく遊具が欲しいという意見あり。

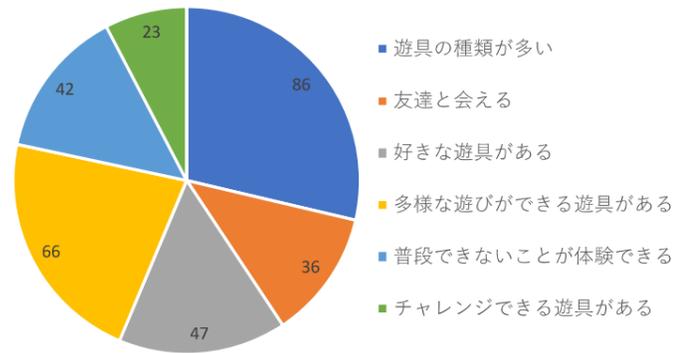
2 子どもの施設の利用状況について

2-Q1 高石市内や近隣の子どもの施設でお気に入りの施設はどこですか？施設名も教えてください。（複数回答可）

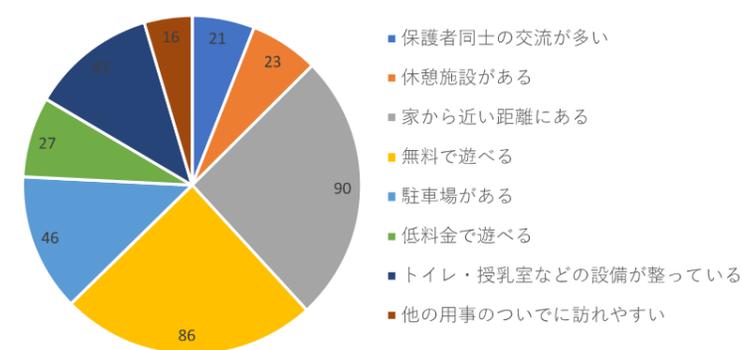


→公園名を記入した方（107人）のうち、72人が浜寺公園を挙げた
高石市では圧倒的に浜寺公園を利用する世帯が多い
屋内遊具施設としてはHUGOOD（31人）が最も多い

2-Q2 お子様上記施設を選ぶ理由は何ですか？（複数回答可）

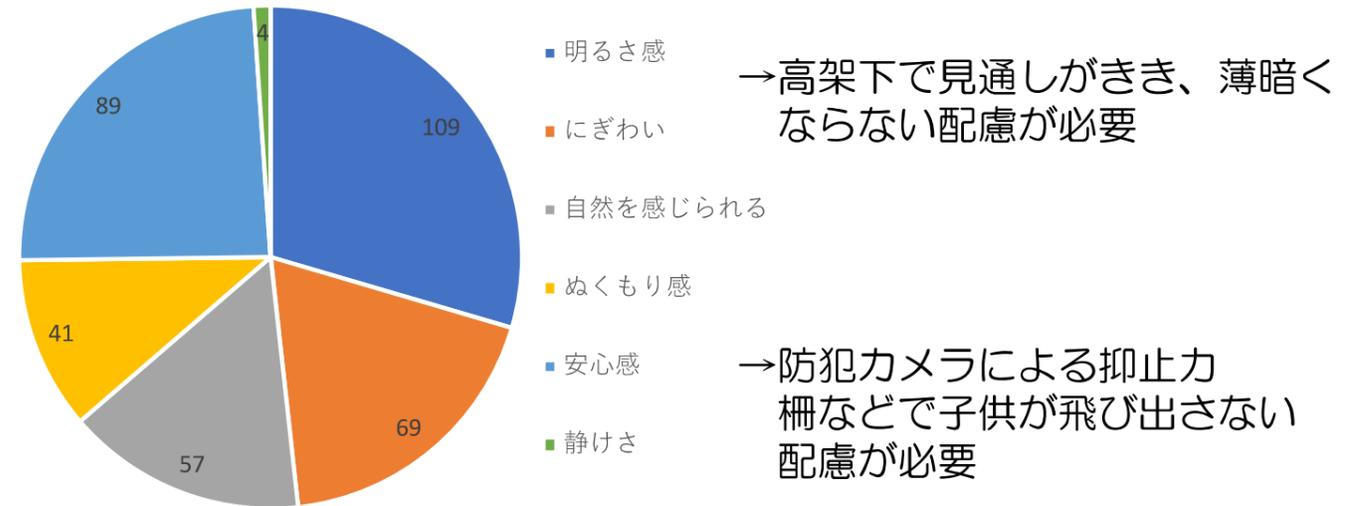


2-Q3 あなたが上記施設を選ぶ理由は何ですか？（複数回答可）



3 高石駅北側高架下の将来像について

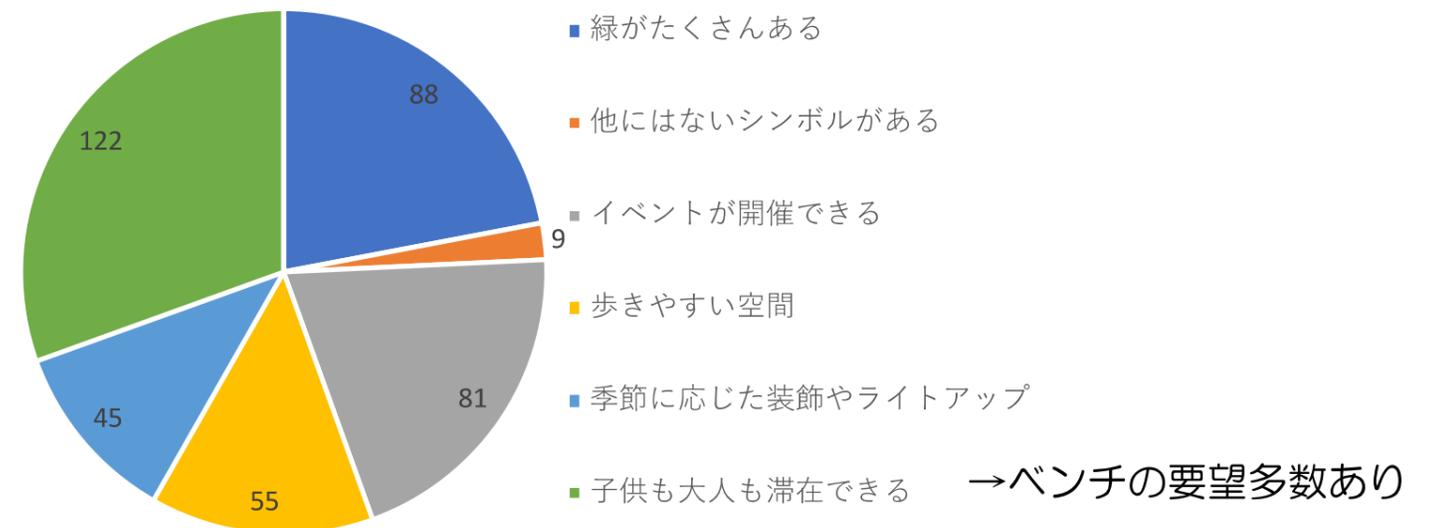
3-Q1 新しく生まれ変わる駅前に求めるイメージは何ですか？（複数回答可）



→高架下で見通しがきき、薄暗くならない配慮が必要

→防犯カメラによる抑止力
柵などで子供が飛び出さない
配慮が必要

3-Q2 良い印象の駅前空間、高石駅らしい駅前空間とするためにはどのような風景・空間が必要ですか？（複数回答可）



→ベンチの要望多数あり

2) ワークショップの結果

社会実験のうち希望者を対象に、ワークショップ形式にて、より具体的な意見収集を行った。

ゾーニングや機能別に以下のように整理した。

自由記述のエリアごとのまとめ

遊具エリア

欲しい遊具種類について

- ・水あそび (9)
- ・トランポリン (7)
(※ふわふわドーム)
- ・ネット遊具 (3)
- ・近所がない遊具 (2)
- ・ジャングルジム
- ・砂場 (2)
- ・すべりだい (2)
- ・おもちゃ (おままごと)
- ・大人と遊べる大きな遊具
- ・ハンモック
- ・砂は嫌 (ハイハイできるエリア)
- ・パルクール教室
- ・ぶらんこ
- ・ターザンロープ
- ・ジップライン
- ・ブロックあそび
- ・卓球台
- ・大人数で遊べる遊具
- ・バスケットコート (半面)
- ・ステージ (ヒーローショー)
- ・ドッグラン

遊具に付属する欲しい機能

- ・ベンチ (5)
- ・トイレ (3)
(内、子ども用トイレ (1))
- ・大きなトイレ数個 (1)
- ・手洗い場 (2)
- ・ミルク用の飲料用のお湯
- ・女子トイレにも男の子用トイレが欲しい
- ・授乳室
- ・テーブル
- ・ゴミ箱

その他の要望

- ・電車が見れる場所
- ・視界を遮らないように

テナントエリア

欲しいテナントの種類

- ・軽食、カフェ (8)
- ・テラス (2)
- ・飲食店 (2)
- ・駄菓子屋 (2)
- ・クレープ (2)
- ・パン屋 (2)
- ・100円均一ショップ
- ・おにぎり
- ・かき氷
- ・託児所
- ・衣料品
- ・フードコート
- ・アレルギー除去食

イベント広場

欲しい機能について

- ・キッチンカー (3)
(水道・電気・ガスの供給ができるようにしてほしい)
- ・フリーマーケット (2)
- ・定期的なイベント (2)
- ・緑の空間

その他

利用年齢について

- ・年齢制限 0～小学校6年生まで (2)
- ・年長～小学校中学年ぐらいまで
- ・0歳～2歳の遊ぶエリアが欲しい
- ・小さい子どもの遊べるスペースが欲しい
- ・いろんな年齢の人が遊べるようにしたい
- ・対象年齢に区画したい

利用料金について

- ・駐車券無料や提携 (3)
- ・高石市民は低料金、無料で使用できる (3)
- ・トランポリンを無料や安価で利用したい
- ・1000円/月で利用したい
- ・予約できるようにしたい

空間のイメージ

- ・子どもとお年寄りの交流の場 (2)
- ・大人がカフェしながら見守れる
- ・迷子になりにくいづくり
- ・きれいに保たれた公園

その他の要望

- ・安全な柵 (4)
- ・食べ物持ち込み ok (2)
- ・ピクニックができる (2)
- ・駐車場 (2)
- ・ロッカー
- ・自転車置き場
- ・けんこうロード
- ・暑さ、寒さ対策
- ・畑、収穫祭
- ・アプラ高石市まで屋根
- ・ベビーカーの貸し出し
- ・使わなくなったおもちゃ・服を譲る人を見つけてほしい

3) 社会実験で収集した市民ニーズについて

■高架下には”子どもが遊べる・運動できる機能”が求められている

アンケート結果より、高架下には「広場」、「公園・遊戯施設（子どもが体を動かして遊ぶ場など）」、「運動施設（ボール遊びできる場など）」を求める声が全体の60%程度を占め、ふわふわドームやネット遊具を中心に、**子どもが遊べる・運動できる遊具施設のニーズが高い。**

また既存の子どもの施設でお気に入りとされている施設には、子どもに選ばれる要素として「遊具の種類が多いこと」や、「多様な遊びができる遊具があること」が、保護者に選ばれる要素として「駅から近い距離にあること」や「無料で遊べること」が挙げられた。

このことから高石駅北側高架下には、**改札口の目の前という立地特性を活かした、子どもから保護者まで一緒に遊べる・体を動かせる公園・遊戯施設が望まれていると考えられる。**



■小さな子どもからお年寄りまで 多世代が安全に憩える空間づくりが望まれている

ワークショップの結果より、遊具エリアにおいてはジャングルジムやすべり台といった**定番の遊具から近所にはない遊具まで、多様な種類の遊具**が求められている。遊具に付属してベンチやトイレの設置も望まれており、保護者が子どもを見守ることができる空間づくりが重要であると考えられる。

また、テナントエリアでは軽食・カフェ、テラスなど遊具エリアの近くで**ゆっくり憩える場**が望まれており、イベント広場ではキッチンカーやフリーマーケットなどの出店が望まれている。

その他には、**小さな子どもからお年寄りまでが交流し、安全に過ごせること**や、ピクニック気分で飲食できることを望まれていると考えられる。



4章 整備方針

(1) 整備の基本方針

高石駅周辺の街づくりに対する高石市の4つの方針から、4つのコンセプトを設定し、高石駅前で魅力的なまちづくりを推進します。

高石駅周辺のまちづくりに対する高石市の方針

子育て世代の定住促進

→第5次高石市総合計画 P65 より引用

多世代交流の促進

→第5次高石市総合計画 P54.66 より引用

ウォーカブルなまちづくりの推進

→第5次高石市総合計画 P53.65.66 より引用

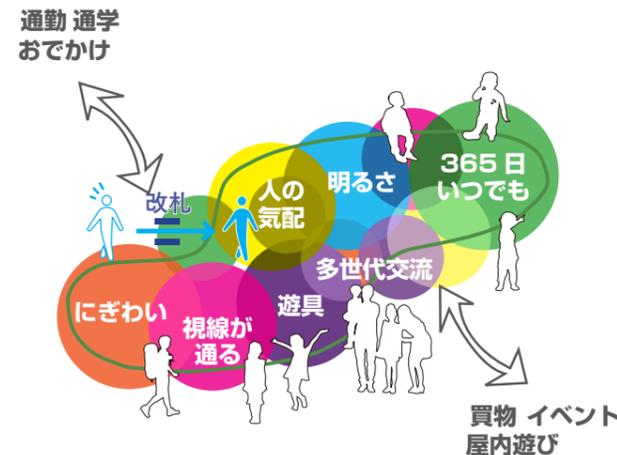
高架化によるまちの活性化

→第5次高石市総合計画 P54.55.56 より引用

上記を踏まえ、高石駅北側高架下空間は以下をコンセプトに計画を進めることを検討しています。

コンセプト

『子育てするなら高石市』の顔となる
365日いつでも子どもと過ごす時間をつくれる遊び場をつくりま



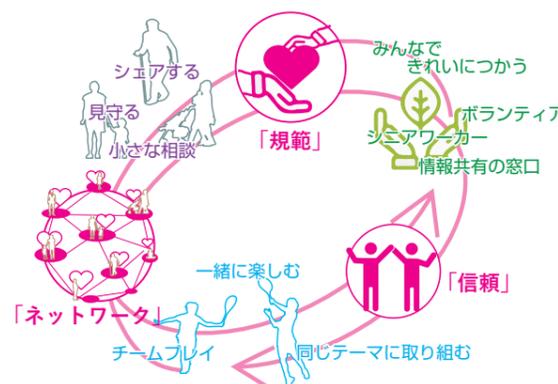
- ・雨天時や真夏日も、思い切り遊ぶことのできる場
- ・小さな子どもも安全に、大きな子どもものびのびと、一度にたくさんの子どもが遊べる場
- ・ついでに気軽に立ち寄れる、いつでも利用できる身近な遊び場
- ・休憩しながら安心して子どもを見守れる安全な遊び場

多様な主体が担い手となり、将来に渡り魅力を維持し、賑わい・活力を未来につなげる文化・芸術を軸とした多世代交流の場をつくりま



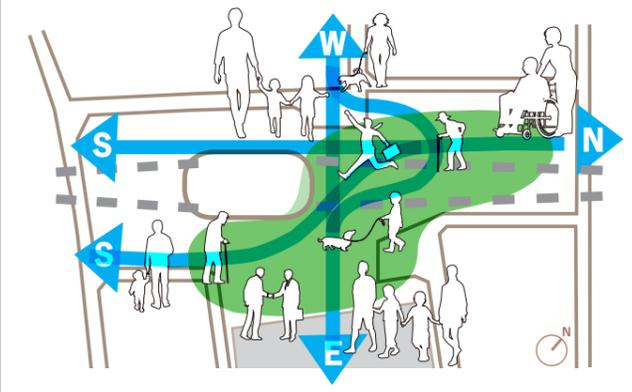
- ・シニアの居場所、子どもの遊び場がある多世代交流の場
- ・大人も子どもも出会いがあり、情報共有できる場
- ・様々な利用者に配慮した、皆が安心して集うことのできる場
- ・多様な主体が集まり、文化・芸術を軸にまちの魅力を発信し続ける場

『ウォーカブル推進都市たかいし』を繋ぐ拠点として人々が訪れたいとなり、滞在したくなる、居心地の良いコミュニティの場 = 人々を繋ぐ場をつくりま



- ・緑と潤いのある、歩いて訪れたいなるリラックスできる場
- ・集まり、遊んで、食べて、滞在する、すべてがそろった一日過ごせる場
- ・いつもきれいで明るく、気持ちよく利用できる場
- ・子どもも大人も体を動かすことのできる健幸に過ごし続ける体づくりの場

東西・南北のまちをつなぎ、活性化させ、人を惹きつける魅力と活力があふれる賑わい発信の場をつくりま

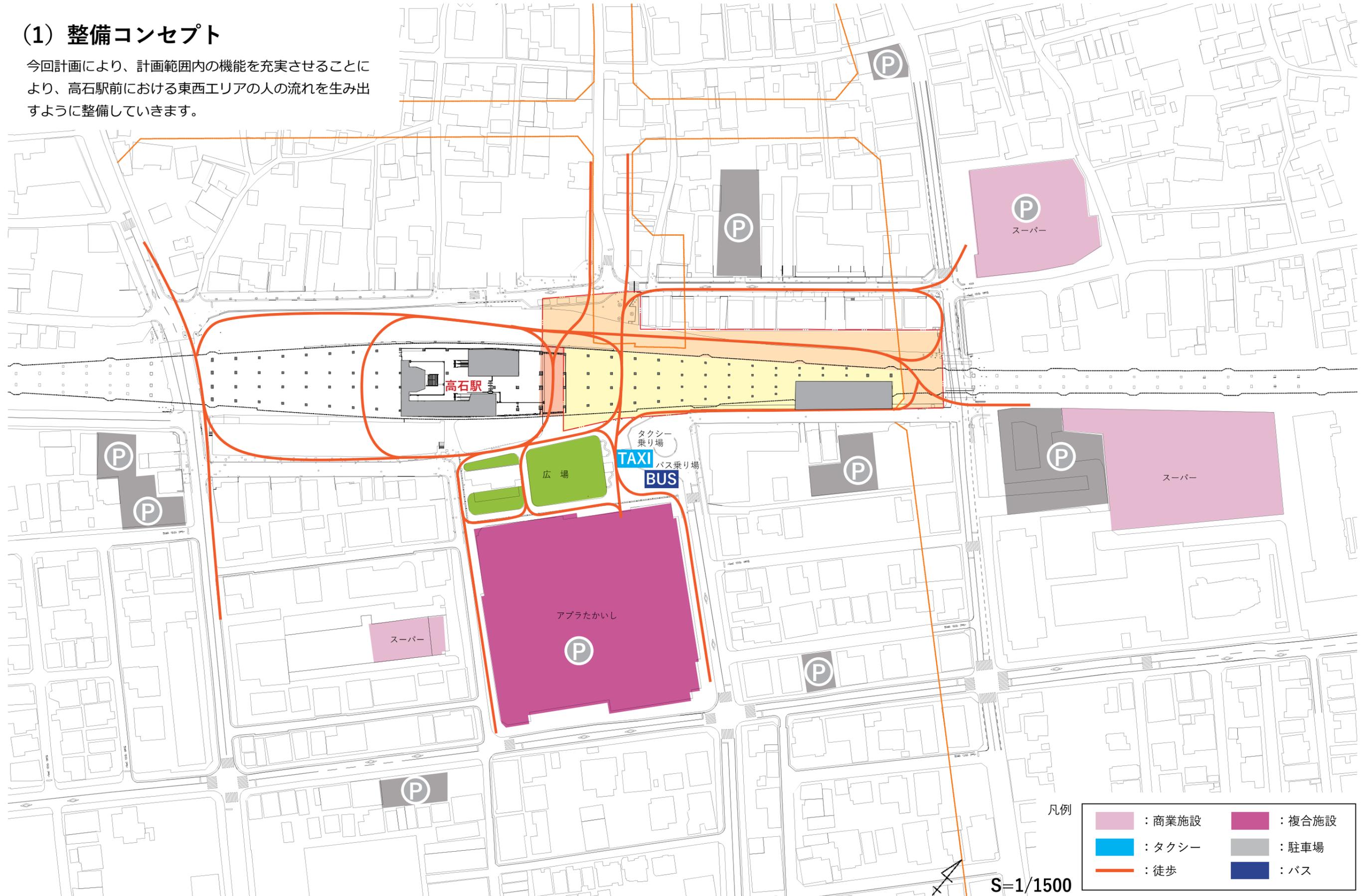


- ・他にない、高石駅ならではの賑わい・情報発信の場
- ・あらゆる方向から駅に集まることのできる動線・広場配置
- ・駅周辺施設をつなぎ連携させる場

魅力・活力にあふれ 高石市民の生活を豊かにする 高石にしかない まちの拠点施設の整備

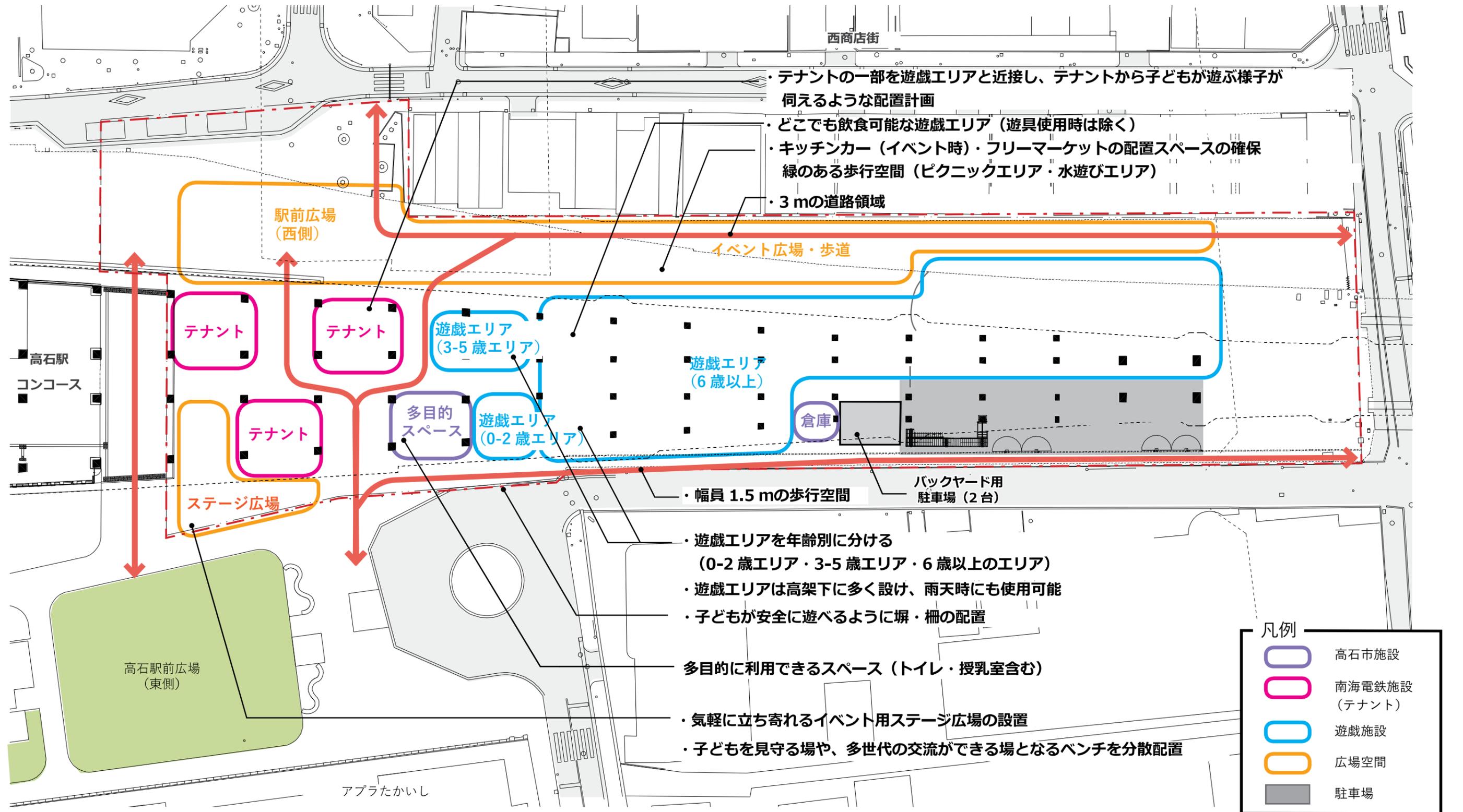
(1) 整備コンセプト

今回計画により、計画範囲内の機能を充実させることにより、高石駅前における東西エリアの人の流れを生み出すように整備していきます。



(2) 整備計画ゾーニング

基本方針の考え方と地域住民を対象としたWS・アンケートを基盤に、高石駅北側高架下整備の計画ゾーニングイメージです。

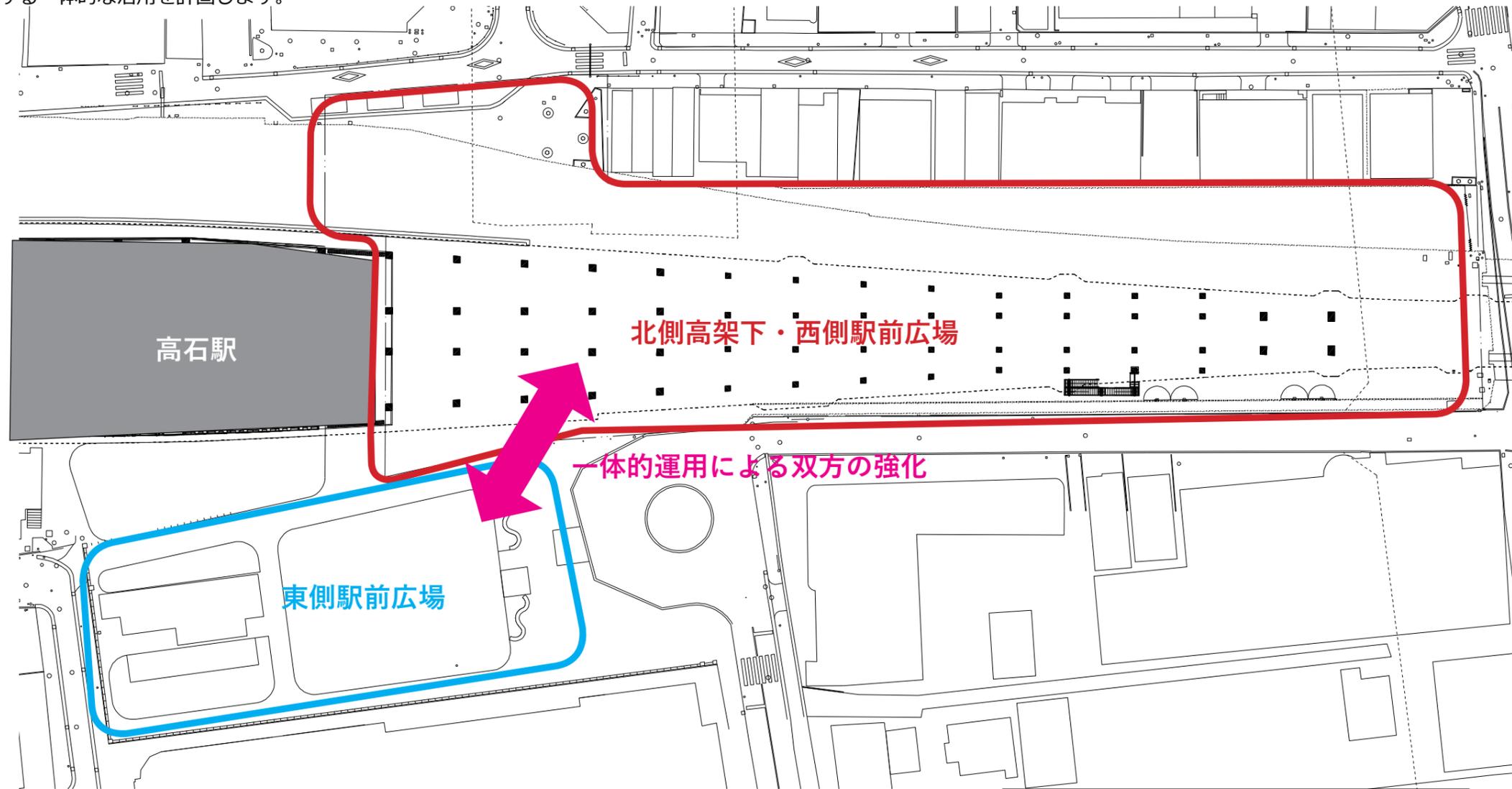


S=1/1000

(3) 整備活用方法

・東側駅前広場と高架下施設及び歩行空間が連携したイベント利用等の活用プラン図

高架化による東西の広場一体化に伴い、東西駅前広場の長所を活かしながら、双方を強化する一体的な活用を計画します。



東側駅前広場

- ・大きな広場
- ・晴天時のイベント利用
- ・座ってくつろげるスペース
- ・大人数が集える広場



北側高架下・西側駅前広場

- ・飲食できる広場
- ・全天候型の空間
- ・トイレの設置
- ・屋内遊具
- ・倉庫
- ・歩車分離の徹底

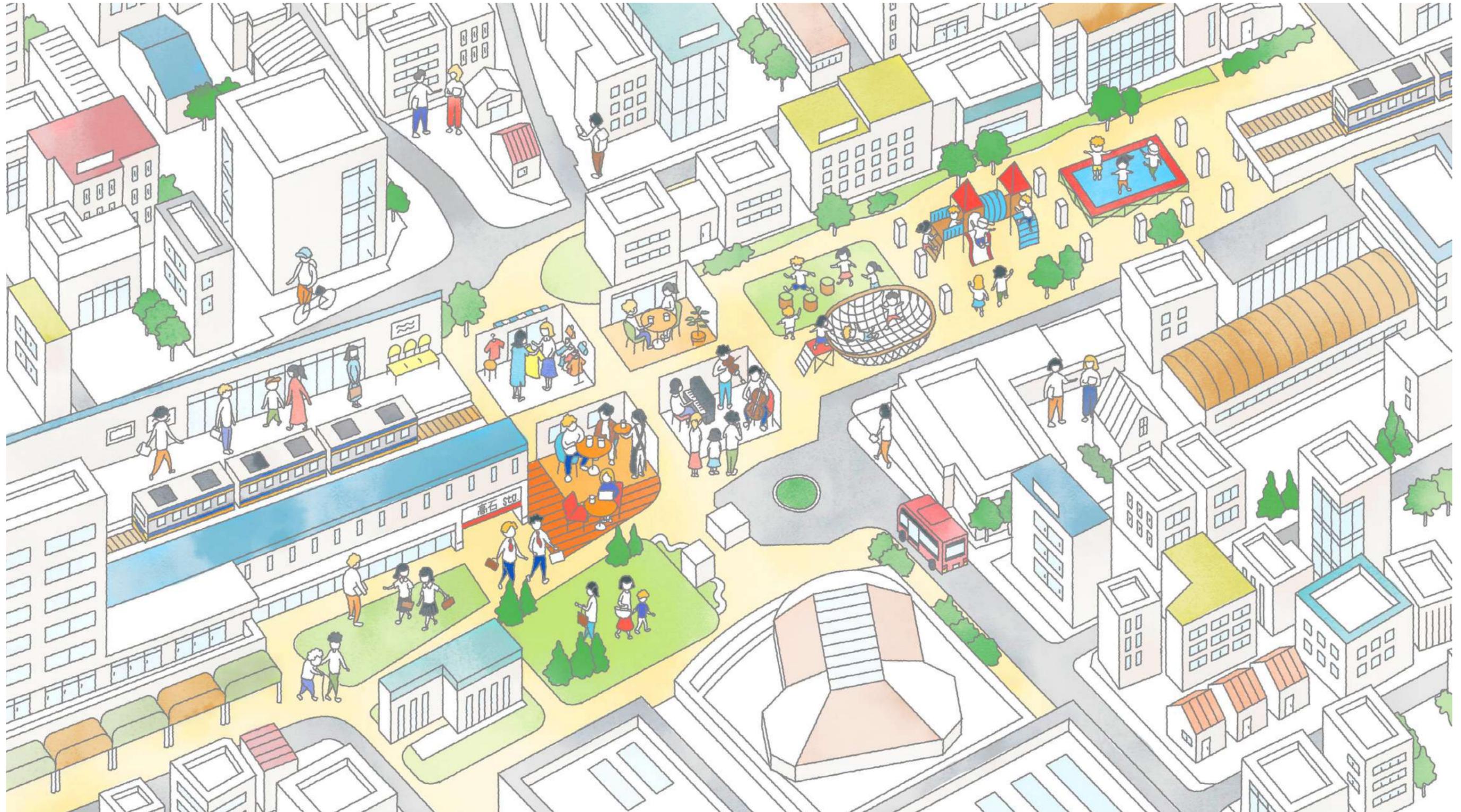


双方の広場の機能を補完する

- ・居心地よい、くつろげる緑の空間
- ・イベント広場による東側芝生広場との一体的利用
- ・安全・安心（交通も多い）
- ・周遊できる空間
- ・多様な利用であきのこない空間
- ・高齢者や小さい子連れの方にもやさしい空間
- ・夜間も安心な空間

(4) 整備イメージ

平日の日常利用のイメージ



(4) 整備イメージ (西側)

週末のイベント利用のイメージ



(4) 整備イメージ (東側)

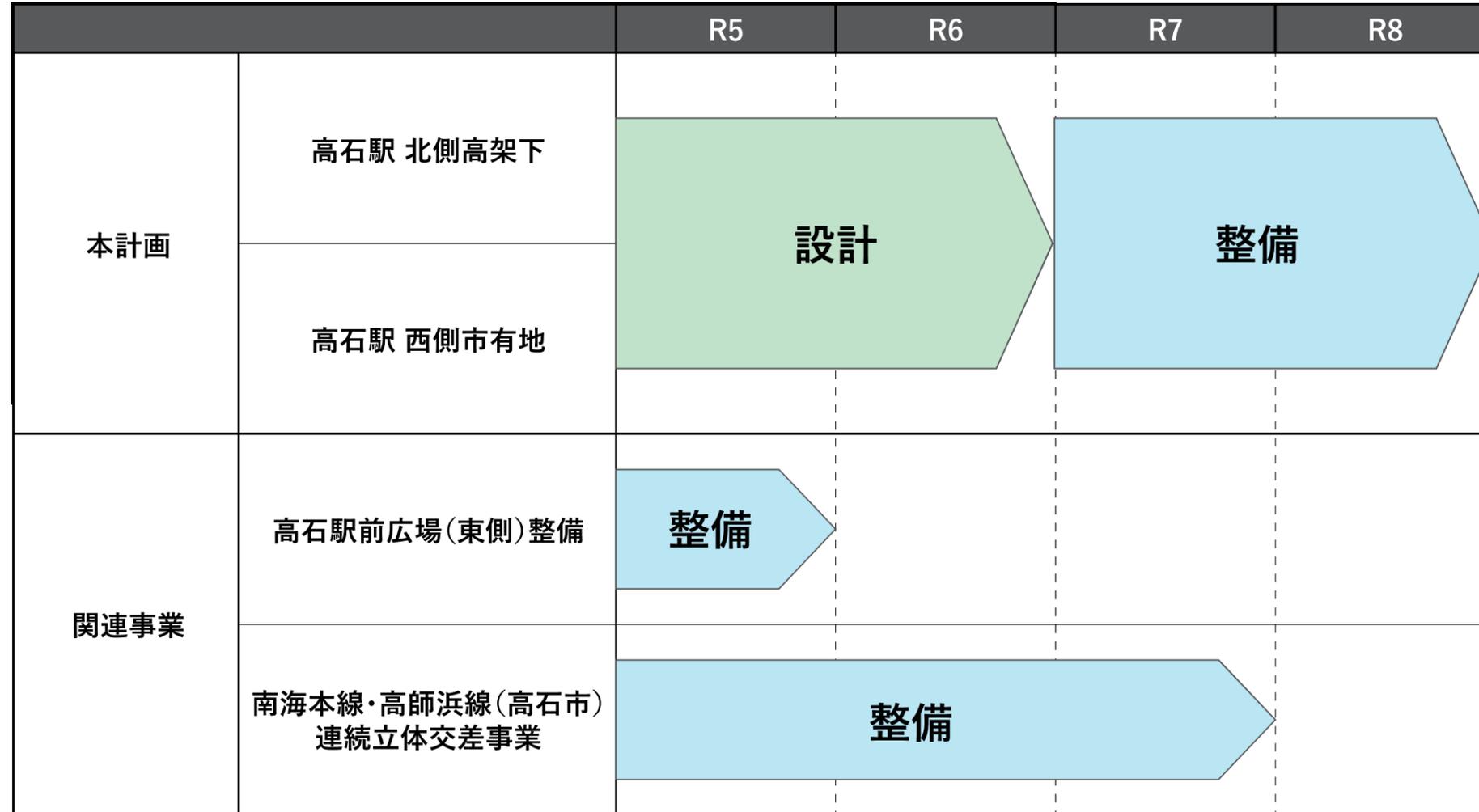
夜間のイメージ



(1) ロードマップ

高石駅周辺の整備は、以下の工程にて段階的に計画を進めていく予定です。

高石駅周辺整備ロードマップ



7章 参考資料

高石駅の良さを最大限にいかす為に、高石市や高石駅前に関連のある他分野の様々な意見交流や協議の場とし、基本方針のまとめと計画イメージのまとめにおいて、「高石駅周辺えきまち連携会議」をおこないました。

・「高石駅周辺えきまち連携会議」開催概要

検討経過	日時	内容
・高石駅周辺整備基本構想策定業務		
第1回えきまち連携会議	令和2年10月16日	・高石駅周辺の今後の構想について ・課題についての意見交換
第2回えきまち連携会議	令和2年12月24日	・駅周辺整備の方針について ・ソフト事業の取り組みについて ・整備スケジュールについて
第3回えきまち連携会議	令和3年2月16日	・高石駅周辺整備基本構想（案）地区の将来像について ・基本構想の実現に向けた役割 ・駅周辺及び高架下の区画案について
清風南海中学校・高等学校グループワーク発表会	令和3年3月18日	・学生による高石駅周辺の賑わいづくりアイデア発表
高石駅周辺整備基本構想策定	令和3年3月18日	
パブリックコメント	令和3年4月15日 ～令和3年5月14日	
・高石駅周辺整備基本計画策定業務		
第1回えきまち連携会議	令和3年12月28日	・基本整備計画の方針について ・社会実験の内容について
社会実験	令和4年2月19日 ～令和4年2月23日	・高石駅前広場に芝生を敷設しての社会実験の実施 ・各種コンテンツの実施 ・芝生化により求められる機能と最適なゾーニングの検証
第2回えきまち連携会議	令和4年3月18日	・社会実験の結果報告 ・整備計画案について
パブリックコメント	令和4年11月17日 ～令和4年12月16日	
・高石駅北側高架下等整備基本計画策定業務		
第1回えきまち連携会議	令和5年2月9日	・基本計画策定の方針等について
社会実験	令和5年5月12日 ～令和5年5月13日	・高架下遊戯施設を想定した社会実験
第2回えきまち連携会議	令和5年5月25日	・高石駅北側高架下等整備に伴う社会実験の検証結果について
第3回えきまち連携会議	令和5年6月30日	・高石駅北側高架下等整備基本計画（案）について